2026年11月27日

各　位

会 社 名　株式会社TWOSTONE&Sons
代表者名　代表取締役社長兼CEO　河端 保志
（コード番号：7352　東証グロース）
問合せ先　取締役CFO　経営戦略本部長　加藤　真
（TEL．03－6416－0057）

TWOSTONE&Sonsグループ、株式会社グッドアンドカンパニーとサイバーセキュリティ・危機管理領域における業務提携のお知らせ

株式会社TWOSTONE&Sons（東証グロース：7352、以下「TWOSTONE&Sons」）のグループ会社である株式会社TWOSTONE Sync（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：宮崎 晃成、以下「TWOSTONE Sync」）は、サニーサイドアップグループで危機管理対応を手掛ける株式会社グッドアンドカンパニー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：谷村 江美、以下「グッドアンドカンパニー」）と業務提携いたしました。

本提携により、TWOSTONE Syncが提供するサイバーセキュリティ対策と、グッドアンドカンパニーが持つ危機管理・コミュニケーションの知見を組み合わせ、企業の危機対応を技術とコミュニケーションの両面から支える新たな支援体制を構築します。

サイバー攻撃や情報漏えいなどのインシデントに対し、技術的な防御に加え、発生時の公表判断、顧客・取引先への説明、問い合わせ対応など、企業が説明責任を果たすための即時対応から備えまでを一体的に支援します。平時の体制構築から有事の初動対応までを支えることで、広報専任者を置いていない企業も含め、インシデント発生時に誠実かつ一貫した対応ができる状態を目指します。

記

１．提携の背景

サイバー攻撃による被害は業種や企業規模を問わず発生しており、企業にとって重要な経営リスクの一つとなっています。

実際にインシデントが発生した場合、企業は短期間のうちに、被害状況の把握や関係機関への報告、対象者への通知、対外公表、問い合わせ対応など、複数の対応を並行して進めることになります。その際、情報が十分に整理されないまま発信してしまうことや、窓口によって説明内容に食い違いが生じることは、企業への信頼に影響を及ぼす可能性があります。

しかし、広報専任者を置いていない企業では、インシデント発生時の公表判断の基準や承認フロー、対外文書の雛形、問い合わせ対応の方針などが、平時から十分に整備されていないケースも少なくありません。また、セキュリティ対策と危機管理広報は相談先や担当部門が分かれやすく、技術的な対策を進める段階で、発生後のコミュニケーションまであわせて検討する機会が限られていることも課題です。

TWOSTONE Syncは、セキュリティを重点領域の一つとして、サイバーセキュリティ対策の導入・運用からAIペネトレーションテストまで、企業のセキュリティ課題に対する支援を行っています。

こうした技術的な防御に加え、インシデント発生時に企業が適切な判断を行い、ステークホルダーに対して誠実に説明するための体制づくりも重要であると考え、この領域で実績と知見を持つグッドアンドカンパニーとの業務提携に至りました。

２．提携による支援内容

本提携では、TWOSTONE Sync がセキュリティ対策の提案・導入・運用を担い、グッドアンドカンパニーが危機管理・コミュニケーション面の体制構築やインシデント発生時の広報支援を担います。

両社が連携することで、技術的な防御と、インシデント発生時に企業が説明責任を果たすための判断・文書・手順をあわせて整備します。

・平時に整えること

① インシデント発生時の対応体制の構築

インシデント発生時の公表判断の基準、承認者や役割分担、顧客・取引先・メディアなど、ステークホルダーごとの情報開示方針を企業ごとに策定します。

② 対外文書・問い合わせ対応の整備

注意喚起やプレスリリース、取引先向け文書などの雛形を整備するとともに、問い合わせ対応における想定問答やエスカレーション基準などを含む対応マニュアルを作成します。

③ インシデント対応シミュレーションの実施

想定シナリオに沿って、セキュリティ担当者と広報・法務・経営など対外対応を担う方が連携し、インシデント発生から対外公表までの一連の対応を模擬的に実施します。実践を通じて、判断基準や役割分担、対応手順を確認し、実際の有事に備えます。

・インシデント発生時に支援すること

④ 危機管理広報・コミュニケーション支援

インシデントが発生した際には、状況や対応フェーズに応じた情報発信の設計、対外文書の起草・レビュー、問い合わせ対応方針・回答文案の作成などを支援します。企業が状況に応じた適切な情報発信を行い、顧客や取引先などのステークホルダーに対して一貫した説明ができるようサポートします。

なお、セキュリティ対策の導入とあわせて平時の備えから着手することに加え、すでにセキュリティ対策を運用している企業が、対外対応の体制整備から先行して取り組むことも可能です。

３．今後の展開

両社は、個人情報や顧客データを取り扱う企業を中心に、本提携による支援を進めてまいります。

TWOSTONE Sync が提供する脆弱性の検証・防御・運用に、グッドアンドカンパニーの危機管理・コミュニケーション支援を組み合わせることで、「見つける」「守る」だけでなく、「万が一の際に適切に判断し、伝える」ところまでを一貫して支援できる体制を強化します。

企業の危機対応を担当者個人の経験や判断に委ねるのではなく、平時から組織として備え、有事には経営として迅速かつ適切な判断ができる状態を支援することで、企業の信頼と事業継続に貢献してまいります。

４．代表者コメント

株式会社グッドアンドカンパニー 代表取締役社長 谷村 江美

情報漏えいが起きたとき、企業の信頼を左右するのは、漏えいそのものだけではなく、その後に何を、どのように伝えたかです。約束できないことは伝えず、約束したことを守る。当社はこの原則を、実際のインシデント対応を通じて実践してきました。

しかし、この原則を有事に守り抜くには、インシデントが発生してからではなく、平時から対応体制を整えておくことが重要です。TWOSTONE Sync との提携を通じて、セキュリティ対策と危機管理広報の両面から、有事においても社会からの信頼を維持できるよう、企業に寄り添い、伴走してまいります。

株式会社 TWOSTONE Sync 代表取締役 CEO 宮崎 晃成

セキュリティのご支援をするなかで、「万一のとき、誰が何を判断し、どう伝えるのかが決まっていない」という声を伺ってきました。企業を守るためには、技術的な対策だけでなく、万一の際にお客様や取引先へ誠実に説明できる備えも欠かせません。

グッドアンドカンパニー様が持つ危機管理・コミュニケーションの実践的な知見を加えることで、技術とコミュニケーションの両面から企業の危機対応を支援し、安心して事業を前に進められる環境づくりに取り組んでまいります。

５．株式会社グッドアンドカンパニーについて

サニーサイドアップグループが強みとする PR（パブリックリレーションズ）と、コミュニケーションを活用した GR（ガバメントリレーションズ）により、パブリックアフェアーズを提供。官民連携による市場創出やルールメイキング、ブランディングに加え、予期せず発生したクライシスへの対応から、平時のリスク認識と経営基盤づくりまで、危機管理対応をトータルで支援しています。

・所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷４-23-５ プライム千駄ヶ谷ビル
・代表者：代表取締役社長 谷村 江美
・設立：2014 年８月
・株主：株式会社サニーサイドアップグループ（100%）
・URL：https://www.goodandco.jp/

以 上